

群馬上野村 天丸山

リハビリ山行は頂上が岩山

八月十一日

島D

今年二月に膝の手術を受けたH竜さんの久しぶりのリーダー山行である。リハビリ山行と言っても、やはり一癖ある魅力的な山である。

神流川沿いをくねくねとカーブの続く山道を車で進む。道の駅「万葉の里」でテント泊し、H竜さんの順調な回復をお祝いする。翌朝早朝、K藤さんと合流し十国峠街道をさらに進み、野栗沢温泉を過ぎ、天丸橋に駐車する。H竜さんの車を下山路終了点にデポする。

天丸橋から登山を開始するが、登山道があるような無いような、沢沿いの踏み跡微かな道を進む。沢を何度も横切りながら、高

度をどんどん上げてゆく、周囲の木々は広葉樹が多い。



三十度を超える日が続いているが、今日は比較的涼しく歩きやすい。霧の中の歩行はマイナスイオンいっぱい心地よい。沢の詰めのような急斜面を斜めに歩き終えると、尾根に出た。門倉山（1572m）に到着。

この尾根は東方にある両神山の赤岩尾根から続いている昭文



社地図の破線の尾根であるが、ここからは実線の尾根になる。歩きやすい尾根を十五分ほど歩くと、岩稜の頂が見えてきた。天丸山（1505m）である。



尾根から十分程歩いて、頂へ

の取りつきに到着した。垂直に近い岩場に、太いロープが下がっている。この頂を登るために、岩稜帯用のアプローチシューズを履いてきた。片手にロープを握り、手を探し、足場を探しながら頂上へ。頂上は360度の展望ながら、本日遠景は望めない。しかし、岩山の頂からの眺めは気持ちよい。緑の山々が美しい。下山路の馬道らしき木々のふくらみも見える。昼食後は、さらに慎重に岩山を下る。馬道のコルから少しずつ高度を下げ、だから道に飽きた頃、下山路林道に到着し、本日の山行は終了した。



下山後、野栗沢温泉「すりば

ち荘」で入浴。民宿のご主人に

冷やした源泉をご馳走になる。

少しの塩気と炭酸の不思議な味のとてもおいしい水である。

道の駅「上野」でてんぷらそばを食べて帰路についた。

帰り道、御巢鷹山に慰霊に向かう方々のバスとすれ違う。

三十一年前の日航機事故の時には、この小さな山村は大変な騒ぎであったろう。

本日主役のH竜さんは、手術後6カ月とは思えないしつかりとした歩きである。岩山も難なく登り降りしている。日頃のリハビリを頑張っておられるのだらう。無理せず穏やかな復帰を待っています。

岩稜帯好みのメンバーに合わせた地味な山行をありがとう。

◎メンバー：H竜(L)塩D(S

L)I村・K藤・島D



山行経過：天丸橋 7:25～尾根
9:25～門倉山 9:55～天丸山
10:20 昼食～馬道のコル 11:45
～林道下山口 13:1

